



【福岡県】

活動報告 1

T&A (Triage & Action) マイナーエマージェンシーコース

平成 30 年 9 月 1 日～2 日 久留米大学医療センターにて 参加者数：40 名

このコースでは日常診療だけではなく、夜間急病センターなどの現場で外科領域のトラブルに遭遇した際にどのように初期評価を行い、適切な初期対応を行いながら、最終的に各専門領域にどのようなタイミングで相談し、患者・家族に対してどのように説明することが望ましいのかということについて講義とロールプレイを通して、「知っている」だけではなく、「行動できる」という観点に基づきコースを行なった。各論としては、鼻血が止まらない時にどのようにしたら良いのか？目に何か異物が入った時にどのくらい目を洗ったら良いのか？その他に、足をひねった、やけどした、犬・猫に噛まれたなど必ず一度は遭遇する内容を中心にエビデンスに基づいた実践的な研修会を行なった。2日間のコースを通して、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、整形外科の専門医に参加していただき、直接相談する時間も設けられたことで、参加者の満足度も非常に高く、これからも継続して開催していく必要を強く感じた。



活動報告 2

プライマリ・ケア医のための整形運動器エコーセミナー

平成 30 年 9 月 2 日 久留米大学医療センターにて 参加者：30 名

「THE 整形内科 (南山堂)」や「離島発 とって隠岐の 外来超音波診療 動画でわかる運動器エコー入門:肩こり・腰痛・五十肩・膝痛のみかた (中山書店)」を執筆されている隠岐島前病院の白石吉彦先生はじめ、整形運動器エコーに精通した先生方を福岡にお呼びしてハンズオン・セミナーを行なった。5名1グループにつきエコー1台を用意し、実際に模擬患者に対してエコーを行うことで運動器エコーに必要な解剖をはじめとした診断・治療のポイントを学んだ。鶏肉を用いて実際にトリガーブロックの練習や筋筋膜性疼痛に対するアプローチなども実践し、参加者はみんな真剣に取り組んでいた。翌日の診療に役立ったという声もいただき、引き続き今回のような実践的なセミナーを開催していく必要があると感じた。



活動報告 3

みんなで考えるこれからの感染症対策

平成 30 年 11 月 10 日 大博多ビル貸会議室 1103 号室 参加者数：24 名

兵庫県立こども病院 感染症内科科長の笠井正志先生と厚生労働省 健康局 結核感染症課 新型インフルエンザ対策推進室より竹下望先生を福岡にお呼びし、AMR（薬剤耐性）やこれから流行期を迎えつつあるインフルエンザ対策や新型インフルエンザ対策などについて講演していただいた。福岡県の抗菌薬処方率は全国平均より高く、2016 年から 2020 年まで掲げられた薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプランに対して、プライマリケア医として何ができるのか考える時間となった。また、インフルエンザについては、普段聞けない行政がインフルエンザ対策をどのように考えて行なっているのか話をさせていただきました。なかでも厚労省が提供しているメールマガジン「感染症エクスプレス@厚労省」の存在に驚いている方が多いのが印象的でした。その他に「インフルエンザ関連死亡迅速把握システム」の話や「平成 30 年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/>)」が最近更新されたことなど時期的にも色々な視点でインフルエンザについて知るよい機会になりました。



【鹿児島県】

鹿児島県支部では下記のような講演会や研修会を行いました。

平成 30 年 9 月 2 日の第 37 回鹿児島地域医療教育報告会では、学生たちの離島・へき地実習の報告の発表とともに、熊本大学医学部 救急・総合診療部/地域医療支援センター 副センター長 谷口 純一 先生と、ファミリークリニックネリヤ 院長 徳田 英弘 先生から適切なコメントをいただきました (参加者 92 名)。



平成 30 年 10 月 10 日に鹿児島大学で第 2 回鹿児島総合診療合同勉強会を開催し、専攻医のポートフォリオ作成の支援 指導医の指導力向上のために、レクチャー、ポートフォリオ検討会などが行われ、内容は鹿児島県立大島病院に同時中継され、両施設間で活発なディスカッションもなされました (参加者 37 名)。



平成 30 年 10 月 26 日に第 192 回垂水医療セミナーを行い、熊本地域医療センター 循環器内科部長 平井 信孝 先生から『「明日は我が身」で備えよう～熊本地震の奮闘録～』と題した実体験を基にした災害医療についてのご講演をいただきました（参加者 58 名）。



平成 30 年 11 月 8 日の第 38 回鹿児島地域医療教育講演会では、島根大学教育学部共生社会教育講座 地理学担当 教授 作野広和 先生をお招きして、『人口減少社会における地域・自治体の対応～「守り」と「攻め」による持続可能な社会の構築～』さらに、翌 11 月 9 日には第 11 回地域医療シンポジウム in 奄美で『住みよい地域づくりの処方箋～ありのままの暮らしを維持する為に～』と題する社会学者からみたまちづくりについてご講演をいただきました（参加者 88 名、50 名）



【沖縄県】

第 19 回沖縄プライマリ・ケア研究会講演会&懇親会

2018 年 8 月 29 日（水曜日）19 時より、ラグナガーデンホテルにおいて講演会を行いました。今回は琉球大学医学部附属病院地域医療部診療教授の中島信久先生をお招きして「プライマリ・ケアに役立つ症状緩和のコツとポイント」というテーマで 1 時間ご講演を賜りました。医師・薬剤師・看護師など合計 23 名が参加しました。緩和ケアの基本から応用まで幅広い内容を短時間で教えていただき大変勉強になりました。引き続き、毎年恒例のホテルプールサイドでの BBQ 懇親会を行いました。こちらは参加者は 20 名で、普段はなかなか話す機会がない会員ともゆっくりと懇親の場を持つことが出来ました。